

# 令和3年度(2021年度)全国学力・学習状況調査、西宮市学力調査の概要

## 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 本市における実施状況について

### ① 調査期日

令和3年度 全国学力・学習状況調査：令和3年(2021年)5月27日(木)

令和3年度 西宮市学力調査：令和3年(2021年)5月7日(金)～13日(木)

### ② 調査対象

市内の小学校および義務教育学校(前期)第6学年、中学校および義務教育学校(後期)第3学年の全児童生徒

### ③ 調査内容

小学校第6学年：(全国)国語、算数、質問紙 (西宮市)社会、理科

中学校第3学年：(全国)国語、数学、質問紙 (西宮市)社会、理科、英語

※令和元年度(2019年度)より、「知識」問題(A)と「活用」問題(B)を一体的に問うことになった。そのため、平成30年度以前については、上記「知識」問題(A)と「活用」問題(B)の値を平均している。

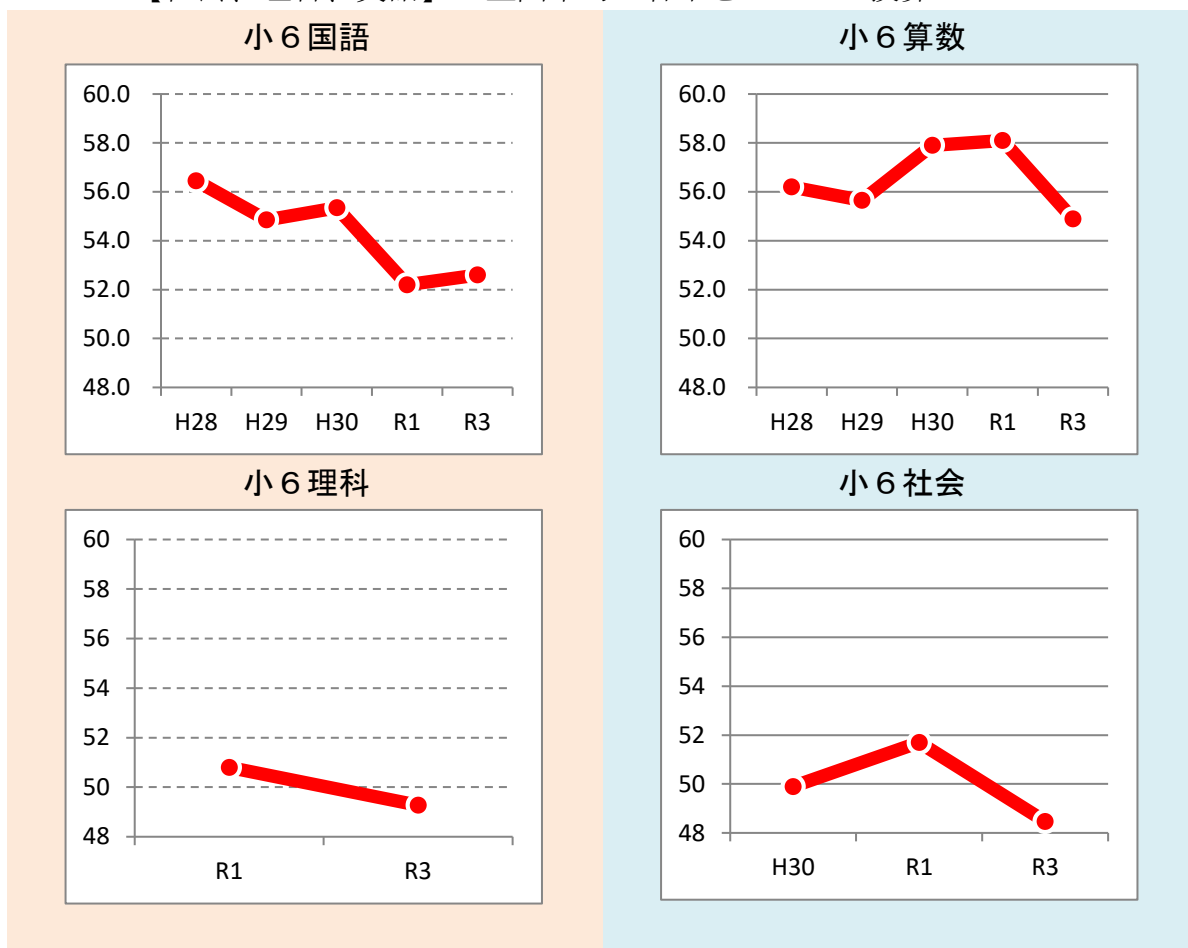
※質問紙調査は、生活習慣・学習習慣等に関する調査。

※令和2年度は、全国学力・学習状況調査および西宮市学力調査の実施は中止。

### 3 調査結果について

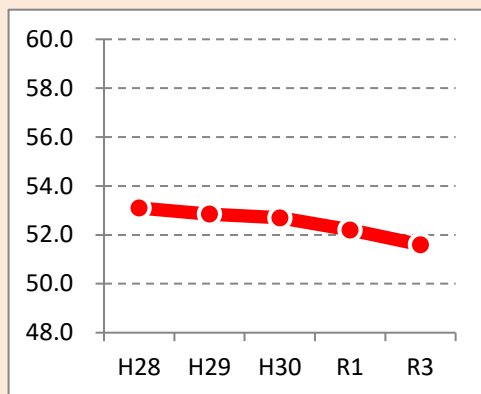
#### (1) 教科に関する調査の結果

- ① 全国平均正答率を50とした正答率による過去の調査との比較  
【国語、算数・数学】 全国平均正答率を50とした偏差値  
【社会、理科、英語】 全国平均正答率を50として換算

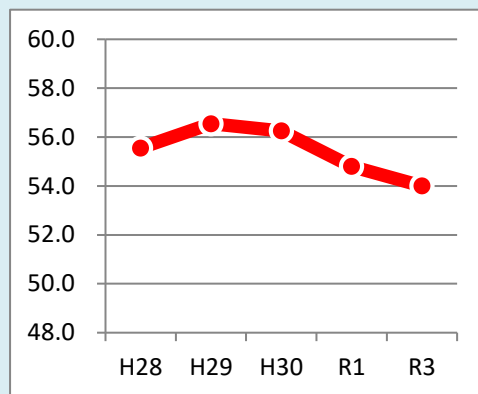


- 全国学力・学習状況調査は、全国悉皆調査として行われています。  
・実施した国語、算数については、令和元年度（2019年度）より、「知識」問題（A）と「活用」問題（B）は一体化し、平成30年度以前の数値は（A）と（B）の値を平均しています。
- 市の学力調査は、希望する市町村において行われている調査です。  
・社会については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、西宮市学力調査を実施しています。  
・理科については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、令和元年度・令和3年度に西宮市学力調査を実施しています。
- 全体的に良好な傾向にあります。全国的な学力差のばらつきは減少傾向にあります。

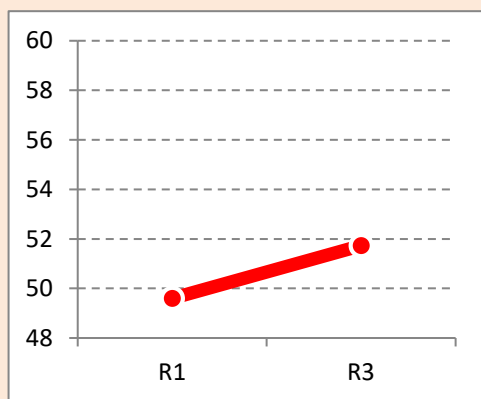
中3国語



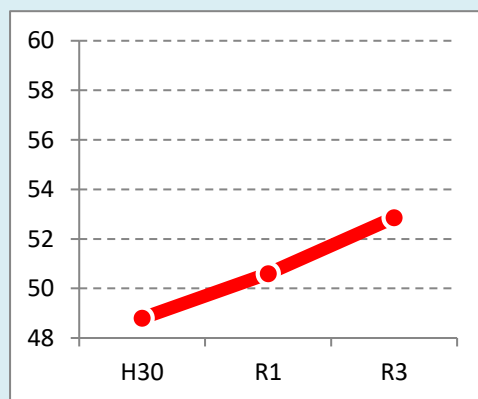
中3数学



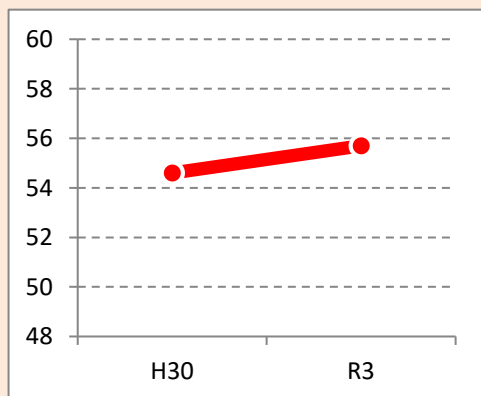
中3理科



中3社会



中3英語

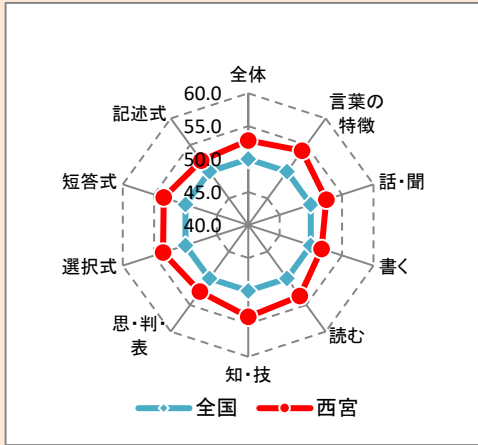


- 全国学力・学習状況調査は、全国悉皆調査として行われています。
- ・実施した国語、数学については、令和元年度（2019年度）より、「知識」問題（A）と「活用」問題（B）は一体化し、平成30年度以前の数値は（A）と（B）の値を平均しています。
- 市の学力調査は、希望する市町村において行われている調査です。
- ・社会については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、西宮市学力調査を実施しています。
- ・理科については、平成30年度より小6・中3が調査対象となり、令和元年度・令和3年度に西宮市学力調査を実施しています。
- ・英語については、平成30年度より中3が調査対象となり、平成30年度・令和3年度に西宮市学力調査を実施しています。
- 全体的に良好な傾向にあります。

② 領域・観点・解答形式別正答率

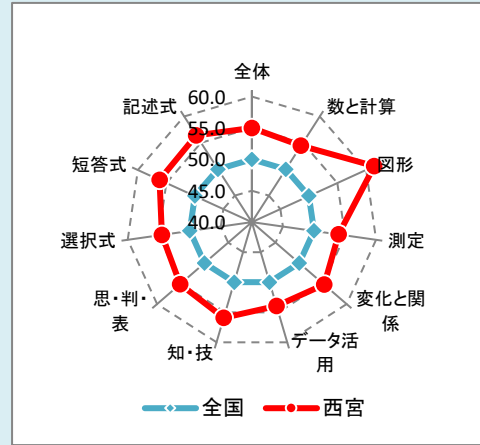
【国語、算数・数学】 全国平均正答率を50とした偏差値  
 【社会、理科、英語】 全国平均正答率を50として換算

小6国語



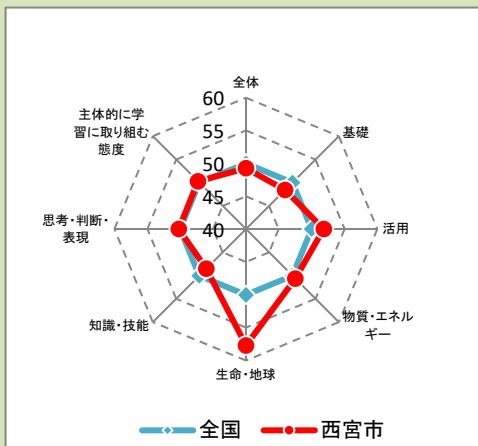
- ・全体的に良好な結果です。
- ・特に、「書く」の領域では、資料を読み、面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかを字数制限内にまとめて書くことができています。

小6算数



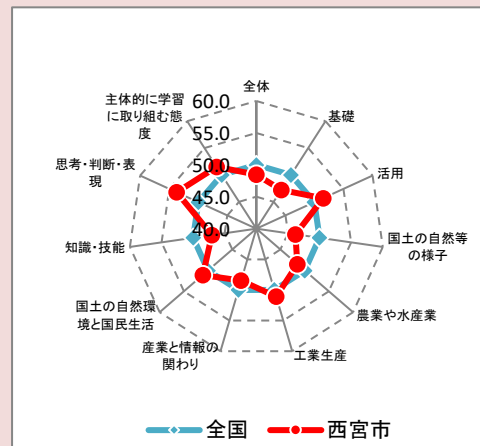
- ・全体的に大変良好な結果です。
- ・特に、「図形」の領域では、「直角三角形」の面積を求める式と答えを記述することができています。

小6理科



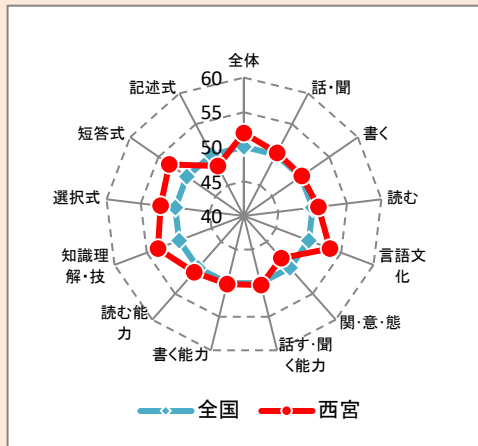
- ・全体的に良好な結果です。
- ・特に、「生命・地球」の領域では、「けんび鏡の見え方」に関する問題ができています。

小6社会



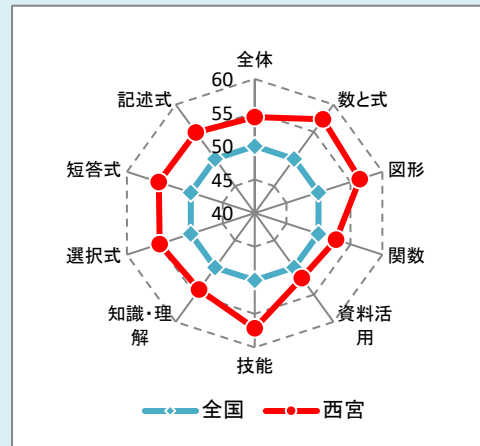
- ・「知識・技能」や「基礎」の問題に課題があります。
- ・特に、「季節風」や「領土の範囲」といった「国土の自然などの様子」に関することについて課題が見られます。

### 中3国語



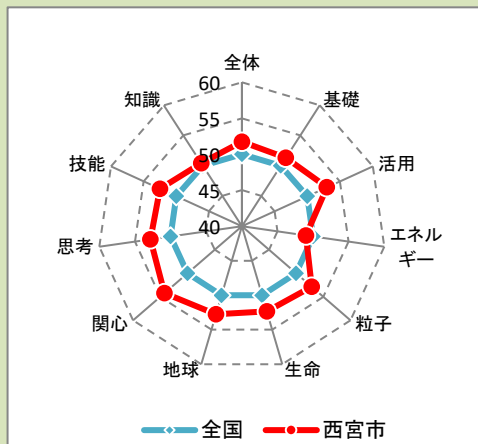
- 全体的に良好な結果です。
- 「記述式」の問題では、主人公の見方や考え方をもとに、自分の考えを具体的に記述する点において若干の課題が見られます。

### 中3数学



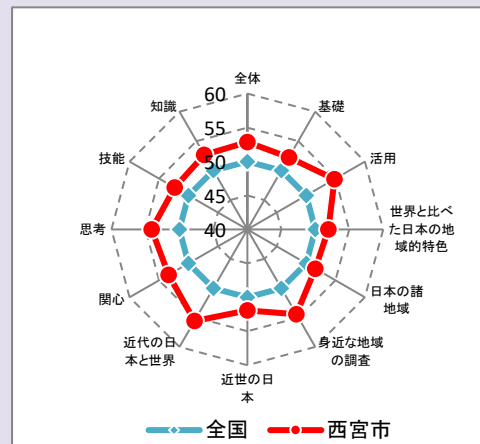
- 全体的に大変良好な結果です。
- 特に、「記述式」の問題では、具体的な事象をもとに問題の中にある数量やその関係を捉えて「一次方程式」をつくることができている。

### 中3理科



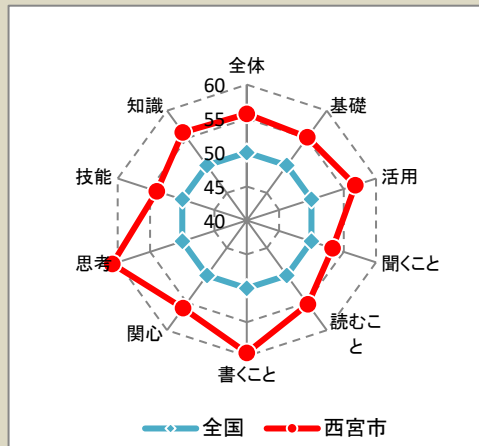
- 全体的に大変良好な結果です。
- 「粒子」の領域では、化学変化における質量の保存について考察することができています。
- 「エネルギー」の領域では、課題が見られます。  
「誘導電流」は駅の改札機等に用いられており、日常生活の感覚的な経験と結び付けて考えることが大切です。

### 中3社会



- 全体的に大変良好な結果です。
- 特に、「明治維新」の政治の動きや「勅諭」などについて、理解することができています。
- 縮尺に着目して「地形図」を読み取る事ができています。

## 中3英語



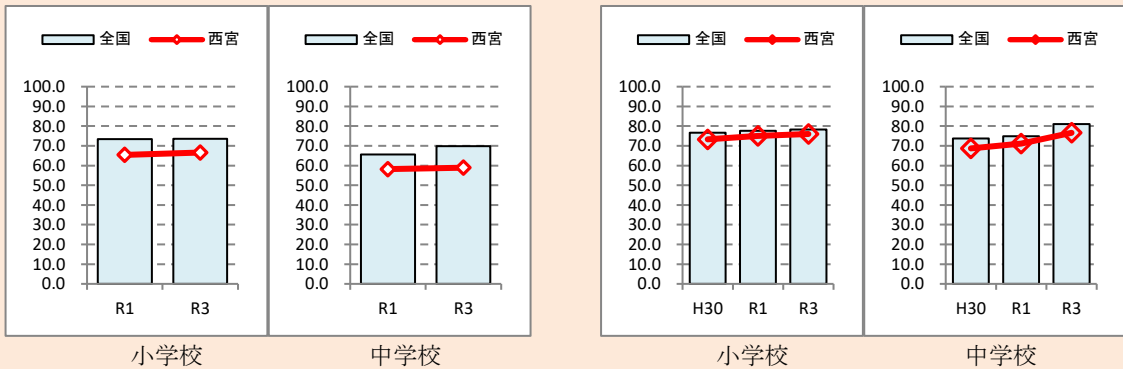
- ・全体的に非常に良好な結果です。
- ・特に、「書くこと」の領域では、英文を正しい語順で書いたり、指示に従って自分の意見を英文で書いたりすることができています。

(2) 児童生徒質問紙に関する調査の分析の概要

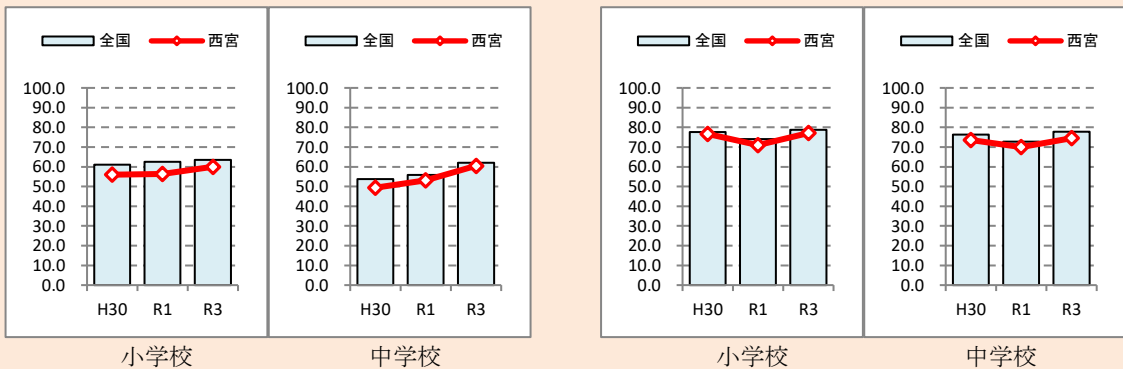
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合を示しています。

①学校での学習・生活習慣に関する項目

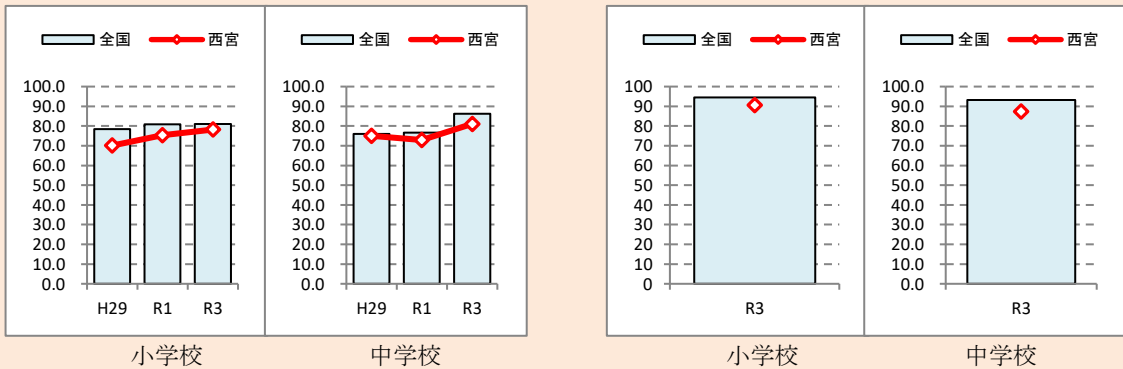
- 1 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- 2 これまで受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



- 3 これまで受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- 4 学級の友達との（生徒の）間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



- 5 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- 6 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うことは、勉強の役に立つと思いますか。



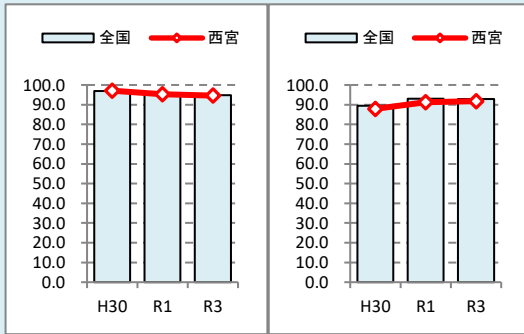
※ 6の項目は令和3年度より追加された質問項目です。

- 1の項目について、6割前後の児童生徒が学級で話し合ったことについて、自分事として捉えて取り組んでいる様子が見られます。
- 2の項目について、授業における課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒の増加が見られます。
- 3の項目について、自分の考えを発表する機会において、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している児童生徒の増加が見られます。
- 4の項目について、8割前後の児童生徒が話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている様子が見られます。
- 5の項目について、道徳の学習では、自分の考えを深めたり話し合い活動に取り組む児童生徒の増加が見られます。
- 6の項目について、9割に近い児童生徒がICT機器は学習に有効だと感じています。

## ②家庭での学習・生活習慣に関する項目

1

朝食を毎日食べていますか。

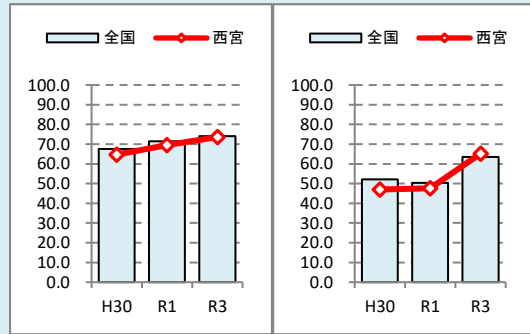


小学校

中学校

2

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。

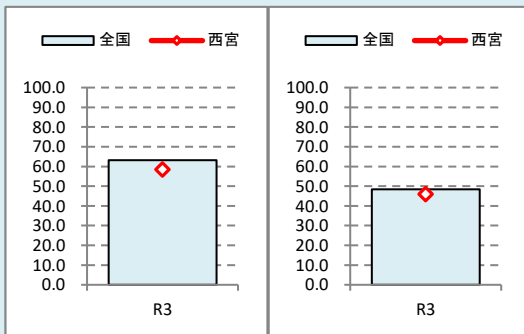


小学校

中学校

3

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。

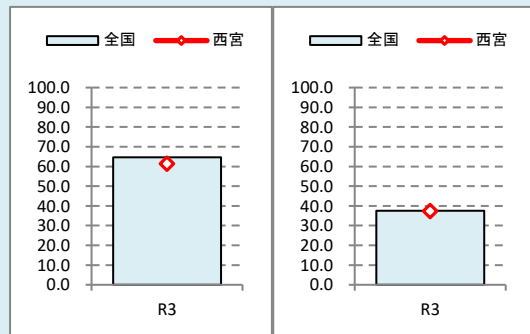


小学校

中学校

4

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

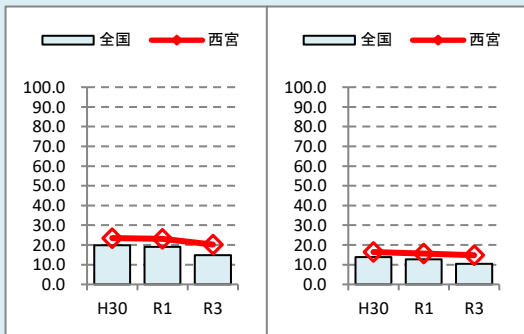


小学校

中学校

5

新聞を読んでいますか。

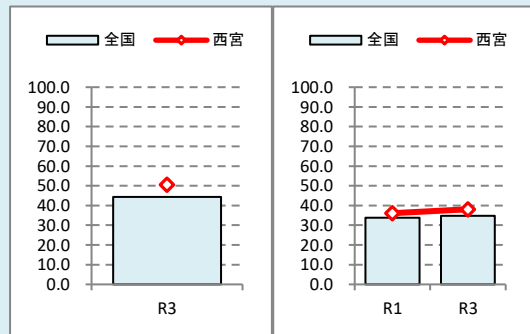


小学校

中学校

6

これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）



小学校

中学校

※ 3・4の項目は、新型コロナウイルス感染拡大による令和2年度の一斉休校に関する質問項目です。6の項目は令和3年度より小学校にも追加された質問項目です。

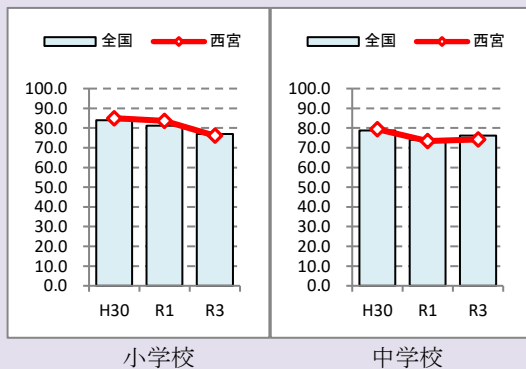
- 1の項目について、9割の児童生徒が朝ごはんを毎日食べる習慣があることが分かります。
- 2の項目について、自分で計画的に学習する児童生徒の増加が見られます。
- 3の項目について、休校していた期間中、5～6割の児童生徒が規則正しい生活を送っている様子が見られます。
- 4の項目について、休校していた期間中、4～6割の児童生徒が計画的に学習を進めている様子が見られます。
- 5の項目について、年々減少し、2割を下回っています。
- 6の項目について、5割の児童・4割の生徒が日常的に英語を使う機会が十分にあることが分かります。



### ③ 自己有用感、挑戦心、受容に関する項目

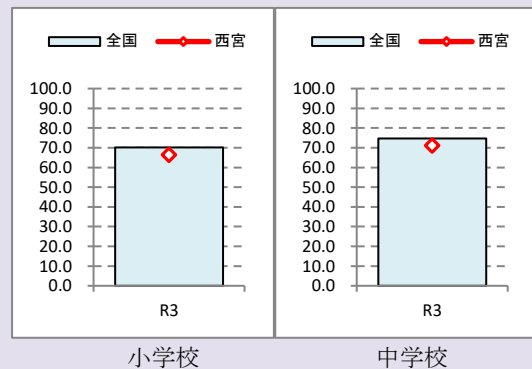
1

自分には、よいところがあると思いますか。



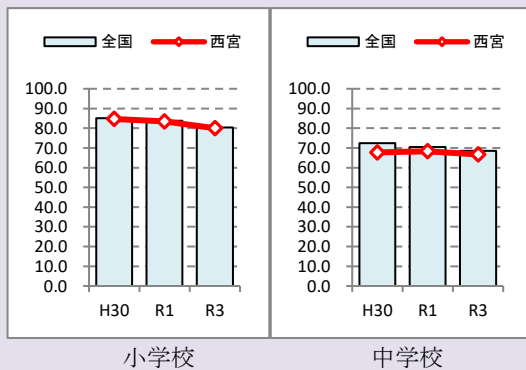
2

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



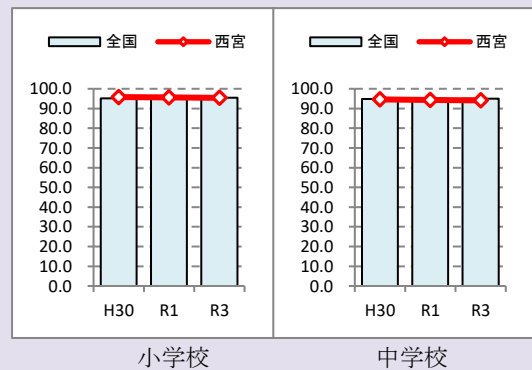
3

将来の夢や目標を持っていますか。



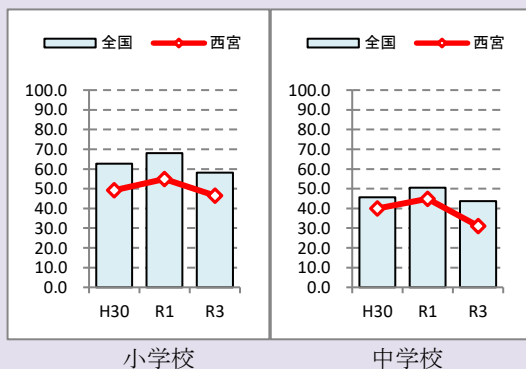
4

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



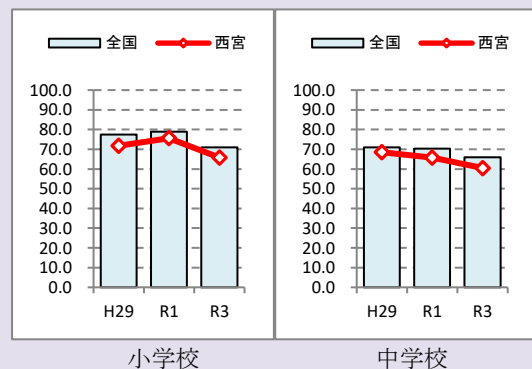
5

今住んでいる地域の行事に参加していますか。



6

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。



- ※ 2の項目は、令和3年度より追加された質問項目です。
- 1の項目について、8割前後の児童生徒が、肯定的な回答をしています。
  - 2の項目について、7割前後の児童生徒が、自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じています。
  - 3の項目について、将来の夢や目標をもっている児童生徒の減少がやや見られます。
  - 4の項目について、9割以上の児童生徒が、人の役に立つ人間になりたいと思っていることが分かります。
  - 5の項目について、令和2年度は小中ともに地域の行事に参加する児童生徒が減少したことが分かります。
  - 6の項目について、失敗を恐れずに挑戦している児童生徒の減少が見られます。